

【美術工芸品の防火チェックリスト】

1. 保管場所の確認		
耐火性の建築物(収蔵庫など)に保管している	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・保存環境は比較的安全といえますが、人による管理が疎かにならないよう留意しましょう。 ・収蔵庫など建物の本来の機能を発揮させるために、建物内及び建物周辺の定期的な点検、防火設備の管理等を行いましょう。
非耐火性の建築物(堂塔、社殿など)に保管している	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術工芸品の盗難も増えております。防火対策だけでなく、防犯対策も心がけましょう。(建物の巡回など)
屋外に設置している	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・盗難や人為的なき損など防犯に関する対応を検討しましょう。 ・周辺建物施設等に火災が発生した場合の対応について検討しましょう。
博物館施設に寄託している	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・保管状況を定期的に確認しましょう。
2. 美術工芸品の保管状況の確認		
最近、美術工芸品の保管状況を確認した	<input type="checkbox"/> はい	
	<input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、美術工芸品の盗難が増えています。安全な状態にあるか確認しましょう。
管理台帳(目録・写真)を作成して管理している	<input type="checkbox"/> はい	
	<input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> ・万一、盗難にあった場合、被害にあった美術工芸品を特定できるよう、目録・写真を作成するようにしましょう。
3. 防火対策		
文化財周辺で火気を使用することが多い	<input type="checkbox"/> はい	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財周辺での火気の使用は原則禁止しましょう。やむを得ず使用する場合は、火気を常時監視できる体制を整えるとともに、火気使用後は確実に消火するようにしましょう。
	<input type="checkbox"/> いいえ	
防火機器・設備などを設置している	<input type="checkbox"/> はい	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している機器・設備などが常時動作する状態にあるか点検しましょう。また、必要に応じて防火機器・設備の増設等も検討しましょう。
	<input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に防火機器・設備の設置をお願いします。設置にあたっては消防機関に相談しましょう。(消火器、自動火災報知設備等)
防火及び消火に関する体制を整備している	<input type="checkbox"/> はい	<ul style="list-style-type: none"> ・消防法では、一定の規模以上の建物について、防火管理者、消防計画を定めることとされています。
	<input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、防火や消火に対する意識を持ち、文化財を管理される人員が少ない場合は、自治会等近隣住民へ協力依頼も検討しましょう。
定期的な巡回・監視を行っている	<input type="checkbox"/> はい	
	<input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から火元管理を徹底し、定期的な巡回・監視を行ってください。
定期的に消火訓練等を行っている。	<input type="checkbox"/> はい	
	<input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> ・火災が発生した場合に迅速・適切な消火活動が行えるよう定期的に訓練を実施しましょう。(防火管理者選任義務建築物は法令により定期的な訓練の実施が義務付けられています。)